

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	DMPB(皮下)
投与予定	休業を含めて1クール 42日(10クール目以降は28日) 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day)											
							1	4	8	11	15	22	25	29	32	36		
1	ダラツムマブ ・ ボルヒアルロニダーゼ アルファ	ダラツムマブとして 1800 mg/body 1回 15ml/body	→	mg/body 実際の投与量 単位/body ml/body	皮下注		ダラツムマブは 2~9クール目はDay1、22のみ投与 10クール目以降はDay1のみ投与(1クール28日に変更) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓											
		ボルヒアルロニダーゼ アルファとして 30,000単位/body	→	#REF! mg/body mg/body 実際の投与量 ml			皮下注	ボルテゾミブは 2~9クール目はDay1、8、22、29のみ投与 10クール目以降は中止 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓										

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
1	ダラツムマブ ・ ボルヒアルロニダーゼ アルファ		臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、本剤15mlを約3~5分かけて投与する。 他の部位への投与はデータが得られていないため行わないこと。 同一部位への反復注射は行わないこと。 皮膚の発赤、挫傷、圧痛、硬結又は癬痕がある部位には注射しないこと。 患者が痛みを感じた場合は、注射速度を減速又は注射を中断する。減速しても痛みが軽減しない場合は、残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 本剤投与中は、同一部位に他剤を皮下投与しないこと。
2	ボルテゾミブ		皮下注射の場合、1vを生食1.2mlで溶解する。静注の場合、1vを生食3mlで溶解する。 皮下注: 投与部位は左右の大腿部、腹部に交互に投与するなど注射部位を替えて行う

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
メルファラン	9mg/m ²	分1 医師の指示通り	day1~4 (10クール目以降中止)
プレドニゾン	60mg/m ²	分1朝食後 又は分2朝食後	day2~4 (10クール目以降中止)
デキサメタゾン (レナデックス)	20mg	ダラツムマブ 投与1~3時間前	ダラツムマブ 投与日
アセトアミノフェン	1000mg		
ジフェンヒドラミン	30mg		
モンテルカスト	10mg	前日眠前と 当日朝	1クール目 day1のみ※

デキサメタゾンの用量は、患者の状態で見直しが必要となる場合あり。

※1クール目day1のみ前日眠前、当日朝にモンテルカスト10mgを内服。呼吸器疾患のある場合は以降も継続。

ボルテゾミブは静注に変更の場合あり。

備考	
----	--